学校番号	1301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	発展数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ⅰ（第一学習社）						
副教材等	ネオパル数学Ⅰ（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対し、自ら考え、周囲の人たちと協同して活動を行います。
・１、２年生での知識を確認しながら授業に臨みましょう。
・「課題を理解→結果の予想→解決の方法を構想→解決する→解決までの過程を振り返る→より良い解決方法を考える」という一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業用のノート・プリント類は、定期的に提出をしてもらいます。
・最後まであきらめず頑張りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
計算の復習、図形と計量、データの分析についての基礎的な知識や技能を習得します。
【思考力、判断力、表現力等】
事象に対し、数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにします。
【学びに向かう力、人間性等】
数学的な知識を活用する態度を身につけるようにします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数と式、図形と計量、データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、図形の構成要素間の関係に 着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などか ら設定した問題について、デー タの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	数と式	計算の復習	a:四則計算や割合の求め方などを理解する。 b: 濃度の計算や速さの計算など、文章で書かれた問題を考察する。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 小テスト 練習問題、練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど
	集合と論理	1 集合と論理	a: 集合に関する基本的な用語・記号を理解し、命題の必要条件・十分条件、逆・裏・対偶などを集合と関連付けて理解している。 b: ベン図などを用いて数学の対象を整理しそれらを多面的・統合的に見たり、事象を命題として表現し、考察したりすることができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 小テスト 練習問題、練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど
ステージ2	三角比	1 三角比	a: 正弦、余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解し、基礎的な知識を身に付けている。三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。 b: 図形の相似の考え方を用いて、直角三角形の辺の比を角との関係で捉えることができる。鈍角まで拡張した三角比の相互関係について考察することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 小テスト 練習問題、練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど
		2 図形の計量	a:正弦定理・余弦定理の利用の仕方及び三角形の面積の求め方について基礎的な知識を身に付けている。 b: 平面図形や空間図形の計量に活用するために正弦定理・余弦定理の式を多面的に見ることができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 小テスト 練習問題、練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど

ステージ3	データの分析	1 データの分析	a: 四分位数、四分位偏差、分散及び標準偏差、散布図及び相関係数などの意味を理解している。 b: 四分位数、四分位偏差、分散及び標準偏差、散布図や相関係数などを用いてデータの傾向を捉え、それらを的確に表現することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 小テスト 練習問題、練習プリントなど	授業の取り組み振り返りシートなど

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度